

新型コロナウイルス感染症対策について

本大会は、県教育委員会の「大会への参加及び大会実施におけるガイドライン」及び日本陸上競技連盟の「陸上競技活動再開のガイダンス(協議会開催について)」に基づき作成した下記の注意事項に則り実施する。

大会運営について

- ・役員に感染予防対策責任者を置き、その者の指揮命令の下、大会における感染症予防を実施するとともに事前に周知を行う。
- ・密集、密閉、密接の3密を回避し、ソーシャルディスタンス(2m)を確保しながら大会運営を行う。
- ・今年度については開閉会式を行わず、競技の注意等はスピーカーを使い周知する。
- ・選手の待機場所については、大会主催者において場所を指定するなどして、密にならないようにする。
- ・参加者に感染者が発生した場合は、連絡をとり、症状の確認が取れる体制を確保する。

選手、監督へのお願い

- ・監督・選手、運営スタッフは必ずマスクを着用する。ただし、選手はウォーミングアップと競技中は外しても良い。
- ・試合の前後や、試合中にもこまめな手洗い又は消毒を行う。特に走り終わった選手は、手指の消毒を必ず行うこと。
- ・試合中は選手、監督は大きな掛け声、ハイタッチなどの交流を極力控えること。
- ・選手、監督、役員、スタッフは大会当日の朝、必ず検温と体調チェックを行い、健康チェックシートを受付に提出する。37.5℃以上発熱がある者、風邪の症状のある者は大会に参加しないこと。
- ・水分補給の水筒、タオル等は共用せず個人で準備すること。

大会開催の可否について

- ・11月2日(月)以降に県が示す新型コロナウイルス警報、特別警報が発令された場合、大会主催者で協議を行い開催の有無を決定する。大会中止の判断は、大会当日でも行う可能性があるため、選手・監督はその旨を理解の上、申込を行うこと。

観戦、応援について

- ・今年度に限っては観戦、応援を禁止し無観客で行う。